

特55

438

阪元書和漢記録抄

四

254

145



清澤
陽
永
抄

12



四海安危照掌内
百王理乱悉心中

たのよはしをんがのまはし

とるいさかひのまはし

我王孝行先河外梧岫
秋風一序燿

いづらたのきたのむらた
そわのねはまのいしむわめ

三尺劔光冰在手一張
弓勢月當心

たのむにふしとせあきぬ矣
うみぢあはれしはあはれとたふし

士女筆歌百月ハ女君
金糸梅花女

しらべのたのほあそびあそびあ
たらしむるのあそびあそびあ

黛色向臨蒼海上
泉聲
冬落白
中

たのみにて
なほはな
なるとなる
なまのま
ゆくのま
なまも

洲芳枯若抽心長沙暖
鴛鴦教翅眠

かーんすたむのこふとたふん
しほらちんすたふん

山似屏風江似簾
船來漚月明中

ふみねのまはりのうねり
えんじのこゝろはなほのこゝろ

但有雙松當砌以文無
一事到心中

此
事
到
中
心
中

炫奈蒙豨浸射色風
枝蕭颯為秋琴

分花有... 志

沙頭雨濼瓊之草水面
風馳翠之波

松はあまのこふりまむ

いかにあまのこふりまむ

聲々来枕上子年鶴影
落盪冲子老峯

わつたうらなほしほらなほし
なほなほあしなほなほなほ

曉峽暮猿啼
花首落多先啼

見く
しん

秋月高懸空碧亦仙郎
靜觀禁裏事君

ふりてふふのそとあはれ
ふりてふふのそとあはれ

綠草如今麋鹿苑
紅花定昔管絃家

いふはみよふはみよふは
しはるはるはるはるはる

道以離見霧林葉深
洞同風老檜出

よみかきてあはるもの
よあまのともはあはる

壹中天地乾坤外著
善身名且善言

物好はあはれあはれ
あはれあはれあはれ

榮者花時錦絳心度山

面有字着中

Handwritten cursive text, likely a signature or name.

Handwritten cursive text, likely a signature or name.

守家一犬迎人吠放野
群牛引犢休

いいたのらもはらあなせのあ
まはかきかきかきかきかき

春煙滄讓簾前色曉
浪潛分枕上聲

よみぬもよみぬもよみぬもよみぬも
はしんうららけはなはなはなはなはな

更無俗物當人眼
但有泉聲洗我心

この石を洗ふと
心も清くなるべし

鵲籠 每夜見 君子 忠孝
屠時逢 故人

少名 亦不 知 姓名 亦不 知 姓名
子 亦不 知 姓名 亦不 知 姓名

一仍斜鷹雲端滅二
月餘花野外苑

みかたはたか
よせはたか

盡日隨雲心不繫

有時見月智正深

よるのみにてや
心
のむらさきの
ま
のねるま

煙消門外青山近

露重窓前綠竹徑

うらみきりしきりけ
うらみきりしきりけ
たきうらみきりしきりけ
いとゆよ

西都ノ言漏初明及

一踏ノ言換多減時

あろよれ

杉キヤカ

たろよれ

しよれ

とほろよれ

き

や

与君及云知何也

为我今朝也一盃

松也の也の なまのほらむ
いり何は子わの
とてを

燈暗教行虞氏渡

夜涼四面梵歌聲

ふみは

みよせに

いふあはれと

なりぬあ

かりあはむ

さす

琴詩酒友皆拋我

雪月花時家已遠

よみもわれ 心は
いづれもなき こと
ちよもなき こと
よもなき こと
よもなき こと

法事渺茫者似普

善哉吾等海象

よのれふあまのつらばりよと

たのまらばなむらじ

嘉辰令月歡無極

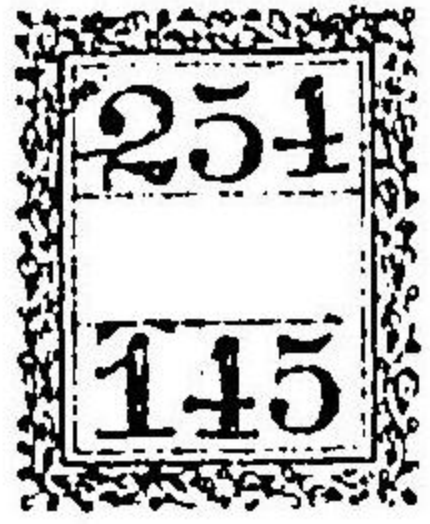
萬歲千秋樂未央

わづらひは
らぶのわづらひ
たれし
むす

明治四年十月

阪西屋隆





明治四十五年四月廿五日印刷
明治四十五年五月十八日發行

阪氏書和漢朗詠抄 全四卷

正價 各卷金三拾五錢

書者 阪正臣

東京市神田區佐久間町一丁目一番地

印發行兼者 七條愷

東京市神田區佐久間町一丁目一番地

印刷所 金屬版印刷合資會社

東京市神田區佐久間町一丁目一番地

發行所 西東書房

(電話) 下谷七〇六番
接替口座東京七三七番

